

遠軽高等学校吹奏楽局

全国大会で銀！



全国大会で銀賞を受賞した遠軽高等学校吹奏楽局(スフォルツァ騎馬像前にて)

10月21日、愛知県名古屋市の名古屋国際会議場で開催された「第66回全日本吹奏楽コンクール」高等学校の部に、遠軽高等学校吹奏楽局が出場。12年ぶりととなる全国大会の大舞台で堂々とした演奏を披露し、見事銀賞に輝きました。

「先輩方や顧問の高橋利明先生をはじめとする先生方の思い、地域の皆様や応援してくださるたくさんの方の思いを背負っての全国大会。自分たちが楽しんでだけじゃなく、その思いも一緒に乗せて演奏したい」と、大会に臨んだ気持ちや語ってくれた河端彩海局長は「3年生は最後の大会、1・2年生は最初で最後になるかもしれない

この舞台で、やりきる演奏をしたかった。そしてそれがしつかりできた演奏になったと思います」と話していました。

コンクールでは、局員の気持ち・思いが音に乗り、会場で遠軽サウンドで包み込みました。審査員の評価はAが4つ。惜しくも、あと1つのA評価があれば金賞となりましたが、金に限りなく近い銀は、全国でも渡り合える証明となりました。

過去8回出場した中でも1番の結果となった今回、高橋顧問は「周りの人の協力がなかったら結果はついてなかった。生徒たちが音で感謝を伝える。それが大事かなと思っています」と話していました。

また、佐々木修一遠軽町長は「快挙です。野球でいえば甲子園に匹敵する大会

広報えんがる 瓦版

2018年(平成30年)
10月26日(金)
発行：遠軽町役場
総務部企画課
電話 42 - 4818
FAX 42 - 3688

で、全国の出場校30校中、金賞は9校。銀賞はベスト10入りと同じです。札幌の私学の一角を崩し、地方の公立高校でも全日本吹奏楽コンクールに出場できることを広く全道に知らしめただけでなく素晴らしいことなのに、全日本銀賞とはまさに快挙「遠軽高等学校吹奏楽局 Bravo!」おめでとう

「どう」と称賛しました。主催である朝日新聞社公式ツイッターでも「個人的には遠軽高校の演奏に一番感動した」「演奏できる喜びがひしひしと伝わってきた。音って本当に気持ちに乗せる言葉なんですな」と、遠軽高校吹奏楽局へのコメントが、全国の方からたくさん寄せられていました。

遠軽町立南中学校吹奏楽部

東日本学校吹奏楽大会で金賞

10月13日、宮城県仙台市の仙台銀行ホールイズミティ21で開催された「第18回東日本学校吹奏楽大会」中学校部門に、遠軽町立南中学校吹奏楽部が出場し、同部が当初から目標として掲げていた「日本の吹奏楽部」を見事に叶え、金賞を受賞しました。

伊藤心部長は「うれしかったけど、それよりも驚きがあった」と審査発表時の心境を振り返り、河西恭子顧問は「演奏後半の歌心を要求される場面は今までうまくいかなくて課題となっていました。本番では上手に演奏できた。うち

のバンドが持つ音質の良さなどを伝えられたと思います」と話していました。



東日本大会で金賞を受賞した南中学校吹奏楽部